

# 社協だより



## 「令和5年7月豪雨」 復興に向けてつないだ思いと活動の記録



## 「令和5年7月豪雨」が残した爪痕

このたびの豪雨災害により被害に遭われました皆さまに心からお見舞い申し上げます。  
皆さまの生活が一日も早く平穩に復すことを切に願っております。



上広川校区



上広川校区



中広川校区



下広川校区

7月10日（月）明け方、九州北部において線状降水帯が発生し記録的な豪雨となりました。

広川町においても、河川の氾濫や浸水害、土砂災害が相次いで発生し、町政始まって以来の甚大な被害に見舞われました。

広川町社会福祉協議会では、被災された方々のお暮しの一日も早い復旧・復興を支援するため、7月12日（水）広川町との協定に基づき「広川町災害ボランティアセンター」を広川町保健・福祉センターに開設し、ボランティア依頼の受付を開始いたしました。

本号では、広川町災害ボランティアセンター開設から閉所までの経過や、センターを拠点としたボランティア活動の様子、活動に参加されたボランティアの皆さまの思い等を掲載させていただきます。

### ●令和5年7月豪雨による災害状況（9月1日時点）

【道 路】 損壊／84カ所、埋没／41カ所

【河 川】 施設・設備損壊／37カ所

【橋 梁】 損壊／6カ所

【住家被害】 全壊／4棟

床上浸水／144棟（うち中規模半壊19棟、半壊58棟、準半壊30棟、一部破損37棟）

床下浸水／110棟

【土砂災害】 かけ崩れ／9カ所

# 広川町災害ボランティアセンターの運営

広川町災害ボランティアセンター  
開設から閉所までの経過



7月12日～ 災害ボランティアセンター開設



7月13日～ 現地調査、資機材等の調達  
家屋の現地調査を開始。県社協、近隣社協からの応援スタッフ派遣開始。



7月15日～ 事前登録による  
ボランティア活動を開始



8月31日～ ボランティアの公募終了  
被災された皆さまへ聞き取りを行い、収束が見込めることから、公募によるボランティア受付を終了。

活動を支えていただきました皆さまへ

社会福祉法人  
広川町社会福祉協議会  
会長 井上 俊明

(広川町  
災害ボランティアセンター センター長)



本年6月より、広川町社会福祉協議会会長に就任いたしました井上俊明です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年7月10日の豪雨においては、人的被害や床上床下浸水の被害が発生し、災害救助法が適用される大災害となりました。

今回の豪雨により被災されました皆さまに対しまして、心からお見舞い申し上げます。

社会福祉協議会では、豪雨発災後、公設の災害ボランティアセンターを立ち上げ、災害復旧に取り組んでまいりました。

これまで活動いただいたボランティア数は延べ1,400人を超え、遠近・年齢・男女を問わず駆けつけてくださいました。酷暑の中での泥だしや家財搬出等の活動とともに、被災された皆さまに対して心温まる言葉をかけていただくなど、献身的な活動をしていただきました。

同時に、ボランティア活動に必要な飲料水や氷の寄贈、災害復旧活動のための資機材等の貸与など、県内外の数多くの皆さま方からご支援いただき、また、センター運営にあたっては県内の社会福祉協議会の皆さまのご協力を得て、円滑に事業を運営することができました。

このように経験のない活動に対し円滑な事業運営ができたことも、ボランティアの皆さまをはじめ、物心両面でご支援をいただきました、皆さま方の陰であるとお心から感謝しております。本会といたしましては、引き続き被災された町民の皆さまの見守りや生活支援等の取り組みに努力して参る所存です。

社会福祉協議会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを目指して日々活動しております。本会の様々な地域福祉事業につきまして皆さま方のご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



9月10日 災害ボランティアセンター閉所  
ニーズ受付件数97件、活動総数198件、ボランティア総数1,372人。【9月10日時点】

閉所以降  
通常のボランティアセンターでの活動に移行。活動依頼や生活に関する困りごとの相談は随時受付。

【10月1日時点】  
ニーズ受付件数100件、活動総数206件、ボランティア総数1,402人。

# 復興に向けてつないだ

広川町災害ボランティアセンターをととして、多くのご支援・



# 絆



# 思いと活動の記録

ご協力をいただきました皆さまへ、心から深く感謝申し上げます



# 災害ボランティア 活動者の声



## みんなで備える力

復興支援福岡

大石 英敏さん  
(福岡県八女郡広川町)

多くの地域でボランティア活動に携わってききましたが、まさか自分の家が被災するとは想像していませんでした。7月10日の午前には洪水となり、午後には水が引いたものの、近辺では住宅内に水が溜まっている状態であったため、発災当日から水抜きを行いました。翌日、以前からつながりのある広川町社会福祉協議会を訪ね、災害ボランティアセンターでの運営のお手伝いと、現場において、床下の泥出しや家財の搬出等のボランティア活動に取り組みました。

地元人がボランティアとして参加していることで「安心する」と言ってもらえ、活動に加わることができてよかったと感じています。

広川町を含めあらゆる地域において、災害は起こり得るもので決して例外はありません。平時での防災準備も勿論必要ですが、今後は、同時期に水害が起きてしまった時の対処法等、みんなで学び合えるような機会をつくってほしいと思っています。

災害ボランティア活動を支えていただきましたボランティア3名の方にインタビューし、活動への思いを伺いました。



## わたしにできること

木屋 裕子さん  
(福岡県八女市)

災害ボランティア活動に参加するのは今回が初めてで、右も左もわからない私に、知識と経験を積まれたボランティアさんが、一つ一つ丁寧に教えてくださいました。

その中で、自分の家だと思って活動することや、被災された方の今後の暮らしのために、私たちの活動があるということ、大切なマインドの部分も、時間を作って教えてもらいました。

また、老若男女問わず、遠方からも大勢のボランティアさんが駆けつけておられることに、とても驚きました。誰かのために動きたいと思う人が、こんなにも沢山いるんだということに感動しました。

被災された方から頂いた「あなたたちに会えてよかった、やっと大丈夫だと思った。」という言葉は、私の心に刻まれています。ボランティアに参加してよかったと、心から思った瞬間でした。

毎年各地で自然災害が起こり、避ける事ができないからこそ、我がごととして災害と向き合い、今後も経験を積んでいければと思っています。



## 活動の先にあるもの

大谷 信二さん  
(福岡県八女市)

私のボランティア活動のはじまりは「東日本大震災」でした。

以降、数々の活動を経て感じることは、災害ボランティアは一つのteam(チーム)だということです。被災者の方が笑顔を取り戻すため、普段の生活を取り戻すために結成するteam。

活動者だけでなく、被災された方、災害ボランティアセンターを運営する社協職員さんも、その一員だと思っています。

私がボランティア活動を続ける原動力となっているのは、活動を終えた時にいただく「ありがとう」の言葉と、何より、笑顔です。その時の心がほっこりする感じが忘れられず、これからも復興のお手伝いを続けていけたらと思っています。

ボランティア自身も、気持ちよく活動ができるように、相手を大切にしながら活動していきたいですね。team一丸となって、みんなが笑顔になれるように！

# 災害ボランティア 依頼者の声

早朝、川の音が怒涛の如く耳に響き、縁側より川岸を見ると、目の前には濁流が押し寄せ、瞬く間に床上を覆いつくしました。庭も道路も一面海のように水に満たされ、平屋のためテーブルの上で、この災難が終わるのを祈ることしかできませんでした。

決壊しえぐれた川岸、家に流れ込んだ泥水に呆然となり、藁にも縋る思いで、ボランティアを依頼をしました。11名のボランティアさんが来られた時は、涙が出るほど嬉しかったことを覚えています。

リーダーの方が活動の流れを説明し終わると、酷暑にも関わらず、床下の泥の運び出しを弱音一つ吐かずに行っていただきました。「大丈夫ですよ。休んでいてください。」と私を気遣ってくださる声かけに、温かい気持ちになりました。

ボランティアの皆さんのおかげで、一人ではないと思えました。そして、未来への希望と復興のための原動力を頂きました。感謝感激でございます。

私も家が落ち着いたら、ボランティアの皆さんへの恩返しとして、ボランティアさんへのケアなど、何かお役に立てればと思っています。

発災時は、15分ほどで急激に水位が上がり、家の裏山へと避難しました。家屋への浸水、倉庫の物がほとんど流されるといった、過去に経験したことのない状況を目の当たりにし、途方に暮れていたことを覚えています。

はじめは、家族や友人の手を借りて、泥出しや片付け等を行っていましたが、災害復興への道のりはとても長く、既にくたびれ果てていた私はボランティアさんを頼ることにしました。

実際に来られたボランティアの皆さんは、年齢も性別もバラバラであるにも関わらず、強い団結力で活動をしてくださいました。「他に気になる所はありませんか？」と、思いやりにあふれた丁寧な声かけや、「被災者の方が元の生活に戻れるようになるまで徹底的に行う」という姿勢に心を打たれました。

また、ボランティアさんの中には、中学生と小学生のお子さんを連れてご家族もおられ、活動の様子を見ていると、親子の絆を感じ心が洗われるようでした。

ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

災害ボランティア活動の依頼をいただいた皆さまから、メッセージをお預かりしました。その一部をご紹介します。



7月10日の豪雨。自宅の横の川から溢れてきた濁流は、私の家に向かって流れ込みました。床下の換気口から、川のように流れ出る泥水を見た時のショックは、忘れられません。

土間の泥水は、どうにか洗い流したものの、床下浸水した母屋に、どう手をつけてよいかわからず、途方に暮れていました。

“浸水した時は、泥出しをして床下を乾かす”そう教えられても、私には到底できるとは思えず絶望しました。

そんな時、現地調査に来られた災害ボランティアセンターのスタッフの方が「大丈夫ですよ。床下に潜ることが得意なボランティアさんも居られるんですよ。」と話してくださいました。その時はまだ、信じられませんでした。

私の心配をよそに、ボランティアの皆さんは、8月末に床板が閉じれるようになるまで、泥出し、送風機の設置などの活動に何回も来てくださり、その度に、私の体調を心配して声をかけてくださいました。お陰で、心も徐々に落ち着いていき、ボランティアの皆さんと笑えるようになってきました。

とりわけ、ボランティアの皆さんの経験からくる知識と言葉には、とても勇気づけられました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

# スペシャルサンクス

多くの皆さまからのご支援、ご協力のおかげで運営することができました。  
心から感謝申し上げます。



## ■運営支援、連携協力団体（順不同・敬称略）

### (1)行政

広川町役場

### (2)社会福祉協議会（以下：社協）、共同募金会

【全国、県】全国社協、福岡県社協、熊本県社協、中央共同募金会、福岡県共同募金会

【職員派遣】大牟田市社協、筑後市社協、八女市社協、柳川市社協、みやま市社協、大川市社協、大木町社協、直方市社協、筑紫野市社協

【その他】久留米市社協、糸島市社協、那珂川市社協、うきは市社協、宮若市社協、大刀洗町社協、粕屋町社協

### (3)団体・企業・NPO等

八女青年会議所、宗像青年会議所、公立八女総合病院、社会福祉法人筑陽会、社会福祉法人多間福祉会、下関東ロータリークラブ、ライオンズクラブ国際協会、日本財団、一般社団法人Camp、広川町職員労働組合、八女市職員労働組合、八女市社協評議会労働組合、福岡県経営者協議会青年会、福岡県自治労、自治労中筑後総支部、JAふくおか八女、有限会社広川衛生社、久留米ヤクルト販売株式会社、キンビパレッジ株式会社、株式会社中島田鉄工所、エフコープ生活協同組合、株式会社大塚製薬工場、有限会社隈部建設、福岡銀行、筑後信用金庫、つるひさ整骨院、西日本新聞社、RKB毎日放送株式会社、おんが司法書士事務所、大橋鮮魚店、復興支援福岡、特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク、災害NGO結、特定非営利活動法人バルビー、被災地NGO協働センター、認定NPO法人日本レスキュー協会、NPO法人有明支縁会、特定非営利活動法人夢と希望、災害ボランティア支援隊決断、巨福山金泉寺、写真洗浄あらいぐま、立花住設、リコンストラクション・ジャパン、広川中学校、上広川小学校、中広川小学校、下広川小学校、広川町消防団、九州大学、八女高等学校、八女農業高等学校、西日本短期大学附属高等学校、八女学院高等学校、筑後北中学校、八女消防本部、広川消防署、YFD、広川町青少年育成町民会議推進部

この他にも、多くの皆さまからご支援いただきました。ありがとうございました。

## 寄付へのお礼

令和5年5月～令和5年9月受付分

社会福祉協議会へのご寄付をいただきました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

### 〈香典返し寄付〉

ご芳名をご紹介させていただき、故人のご冥福を心からお祈りいたします。

行政区	親族	故人
扇島	中島 祐二様	入ズ子様
吉里	久保田俊朗様	幸子様
内田	姫野ノブエ様	弘喜様
北新代	丸山 信英様	誠様
草場	永野 守様	力才ル様
梯	野中 敏昭様	明美様
吉常	丸山 健様	サツキ様
智徳	永松 悟様	靖生様
一	野口 重利様	トシエ様
扇島	渡邊 元喜様	喜代香様
長延上	山村 榮子様	喜廣様
古賀	野村 清香様	良則様
長延上	丸山 由朗様	登美代様
長延下	馬場 光弘様	馬場スミエ様
当条	野田 貴男様	耕司様
太原	丸山 里美様	潔様
川瀬北	樋口 絹代様	浩造様
長延下	森山 龍雄様	始様
太原	丸山 隆文様	恵子様
吉里	森山 博之様	徳次様
長延上	萩尾 保博様	菅江様
長延上	立山 美幸様	伸二様

行政区	親族	故人
川瀬	貞刈えり子様	厚様
高間	中村 和子様	早智子様
小椎尾	中村 忠雄様	シゲヨ様
古賀	森山 幸子様	セキヨ様
内田	姫野 貞子様	徳保様
六田	椿 幸治様	シヅカ様
川瀬	北原 利通様	タミ子様
一	中島 妙子様	博文様
川瀬	水本 艶子様	辰次様
当条	野田 隆秀様	フジエ様
扇島	藤島 傳藏様	典子様
牟礼	江口久美子様	定條様
逆瀬合	江崎佐恵子様	田中ミツカ様
長延下	近藤 孝嘉様	智彦様

### 〈一般寄付・使途指定寄付〉

藤田 緒方 主計様  
 廣島 小屋浦 住民様  
 太田 江田 晃様  
 福岡市 芹田 博様  
 一 野中 仲芳様  
 大牟田市 禅曹洞宗 巨福山 金泉寺様  
 熊本県 香りサポートの会様  
 太田 河本 寛様